

新入生へのメッセージ

理学療法学科 学科長 吉田幸史

御入学おめでとうございます

理学療法学科に御入学された皆さん、4年間勉強に、スポーツに、社会活動に興味のある事に取り組んでください。真剣に取り組んだことは決して無駄にはなりません。

皆さんが選択された、理学療法士は乳児から高齢者まで、幅広い対象者に関わる職業です。特に障害者は今まで関わったことがない人も多いと思われます。しかし、障害者や高齢者が安心して暮らせる社会が、誰もが安心して暮らせる社会だと思います。人は必ず年を取りますし、疾病や事故でいつ障害を持つかわかりません。誰もが安心して暮らせる社会を作る事が我々の幸せも兼ね備えているのです。その幸福な社会の一翼を担うのが理学療法士です。その為には必要な知識を付けることはもちろん、人間的にも成長をしなければなりません。相手を思いやる事ができれば、必要なサポートを見つける事も可能です。

四年間で社会人として、医療人として成長され卒業される事を切に願い、入学のお祝いとさせて頂きます。

作業療法学科 学科長 川上和敏

今年度の作業療法学科新入生8名は第30回生になります。本学科は道内の作業療法士養成校として4番目に開学し、これまで30年の歴史を積み上げてきました。道東道北地域に唯一の養成校であり、同地域の人材育成が本学の役割でもあります。広大、寒冷、高齢化、過疎化などの地域課題（4K）を抱える地域において、本学が医療福祉に貢献してきたことの意義は大きく、今後もますます必要性が高まっています。残念ながら、入学者数の減少にともない次年度の募集停止が決定となってしまいましたが、30回生には北都のDNA（伝統と歴史）をしっかり引き継いでほしいと思います。新入生皆さんの挑戦とやる気が全て未来に出会う患者のために繋がっています。新入生の成長を全力でサポートしていきます。

看護学科長 鳴海繭花

令和7年度になり、看護学科では18回生40名を迎えました。コロナ禍を経て、看護師を目指す人が減っている中、この道を志してくれたことをうれしく思います。90分の講義や入学して早々に病院見学もあり、緊張したことでしょう。保護者のみなさんも、新しい環境に適応できるのか心配されていたことと思いますが、入学して1か月を超えて、少し安心したのではないのでしょうか。

5月からは、解剖生理学や看護技術演習など、専門的な学習が増えてきます。体調に留意しながら、よりよい学びにつなげていただければと思っています。